行動計画2022-2024

JB本四高速グループ

次世代への挑戦 ～『インフラ経営』のリーディングカンパニーを目指して～

JB本四高速グループでは、2022年度から2024年度までの3年間を対象として、新たに「行動計画2022-2024」を策定しました。

高速道路を取り巻く環境は、自然災害の激甚化・頻発化や構造物の高齢化により維持管理の重要性が近年益々増大するとともに、自動運転の実用化などモビリティ社会の変革への対応も求められています。また、人口減少や少子高齢化、新型コロナウイルスの影響等、社会環境も大きな変化を見せています。さらに、持続可能な世界を目指すSDGsの取組、脱炭素社会へ向けた動きやデジタル革命の進展等、次世代に向けた新しい潮流も加速しています。

こうした変化や潮流に適応し、持続可能な社会に貢献し続けるために、インフラを国民が持つ資産として捉え、整備・維持管理・利活用の各段階において、工夫を凝らした新たな取組を実施するという 『インフラ経営』 の視点から、国民の重要な資産である本四高速道路の潜在力を引き出すとともに、新たな価値を創造し、瀬戸内、ひいては我が国の持続的な発展を支え、SDGsの達成に貢献してまいります。

重要な社会インフラである本四高速道路の持つ可能性を最大限発揮させ、持続可能な発展に貢献するため、私たちは、インフラ経営のリーディングカンパニーを目指して次世代への4つの挑戦に取り組みます。

- **◆ 「持続可能な高速道路」に挑戦します。**
- **◆ 「長大橋技術企業」として、「２００年橋梁」に挑戦します。**
- **◆ 「瀬戸内企業」として、「瀬戸内の未来」に挑戦します。**
- **◆ 「成長し続ける企業グループ」に挑戦します。**

今回策定した行動計画2022-2024は、「次世代への挑戦」に向けた第一歩です。

■ 行動計画2022-2024

次世代への挑戦

社会環境の変化への対応

●SDGs 達成への貢献　●脱炭素社会への取組　●ＤＸの推進

Ⅰ．持続可能な高速道路への挑戦

これからも安全、安心、快適に高速道路を利用していただくため、基盤となる高速道路事業の高度化・効率化の推進、SA･PAのサービス向上に取り組み、「持続可能な高速道路」を実現します。

＜主な取組＞
●高速道路事業の高度化・効率化　●本四高速道路の災害対応力の強化、
●本四高速道路の着実な維持管理　●事故ゼロへの取組　●SA･PAの快適性と利便性の向上
●モビリティ社会に向けたサービスの進化　●道路ネットワークの強化によるサービスの向上
●広域交流への貢献

Ⅱ．２００年橋梁への挑戦

２００年以上の長期にわたり利用される「２００年橋梁」を実現するため、ロボット化、デジタル化等も駆使して維持管理技術の高度化を推進するとともに、高い技術力を有し国内外から評価される「長大橋技術企業」を目指します。

＜主な取組＞
●長大橋技術の高度化　●JB本四高速グループの技術による貢献　●長大橋技術の発信

Ⅲ．瀬戸内の未来への挑戦

瀬戸内の活性化を図るため、国、地方公共団体、大学、企業、地域に根ざす各種団体等、多様なパートナーとの連携を強化し、「瀬戸内の未来」につながる魅力を創り出します。

＜主な取組＞
●インフラツアーの更なる推進　●SA･PAを拠点とした地域連携の推進　●島旅の活性化
●サイクリングによる地域発信　●「せとうち美術館ネットワーク」の深化・発展

Ⅳ．成長し続ける企業グループへの挑戦

これらに挑み「成長し続ける企業グループ」となるため、多様な働き方に対応し、不断の意識改革や効率的な業務遂行に努め、社員一人一人が向上心を持って活き活きと働く基盤づくりに取り組みます。

＜主な取組＞
●やりがいのある多様な働き方の実現　●JB本四高速グループを支える人材の成長
●グループ経営基盤の強化　●地域・社会への貢献　●多様なパートナーとの連携